

事業の背景・目的

学研木津北地区は、社会経済状況の変化等を理由に国土交通省通知によりニュータウン事業の中止が決定された。その後、平成24年に木津川市学研木津北・東地区土地利用計画を策定し、同地区を地域連携保全活動計画を作成の上、生物多様性の保全を進めていく地区として位置づけるとともに、平成26年に現行の地域連携保全活動計画を策定の上、里地里山保全活動を実施してきた。同計画は多様な主体による里地里山保全活動を実施していく上で、共通の目標を示す必要不可欠な計画であり、引き続き次期計画の策定が必須である。

事業の内容

事業：生物多様性第2次木津川市地域連携保全活動計画策定事業

- ・学識経験者及び活動団体等へのヒアリング
- ・現地調査及び過年度の調査結果による今後の展望の検討
- ・パブリックコメントを実施し、広く住民の意見を聴取
- ・木津川市地域連携保全活動協議会を計3回開催の上、計画策定



地域連携保全活動協議会の様子

得られた成果

- ・地域連携保全活動計画の次期計画について、今後10年間の将来像や必要な取組についての検討を行い、改定を行った。
- ・今後、実施計画を次年度に策定し、同計画に基づく以下の保全活動を実施することとした。
- ・地区全体的に蔓延る竹の浸食を10年間のローテーションによるアプローチによって食い止め、主にオオタカ及びヤマトサンショウウオの生育環境を整えることに主眼を置きながら生物多様性の促進に努める。
- ・資金不足や人材難の解消に向け、機能強化した応援団による企業協賛の促進や、地区周辺の開発地のいわゆる新住民へのプロモーションを行い、多角的に里山再生を実現する。